

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

後期

科目No.	156	科目名	化学物質総合管理学2		サブネーム	グローバルゼーションと環境経営2		
共催機関名		レベル	中級		講義枠	水曜日	講義時間	18:30~20:00
科目概要	環境政策のグローバルゼーションの潮流の中、中長期的な視野で適切な環境経営に取り組む戦略が必須である。従来のトリプルボトムラインに代表される環境経営への取り組みにおいては、「環境保全を資する企業経営の取り組み」で良かったが、グローバルゼーションに対応するためには「企業経営のための環境への取り組み」が求められる。こうした観点を踏まえた企業経営上のとるべき戦略について理解を深める。							

サブタイトル	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
環境経営(1)	1 なぜ環境経営か	企業経営の立場からみた、企業が行う環境への取り組みの意義について解説する。	10月5日	1号館204	寺本和義	日立製作所
化学物質管理(1)	5 化学物質管理への取り組み方	PRTRや安全衛生管理というベーシックな化学物質管理の基本を解説し、IT技術を用いた最新の管理システムの事例を紹介する。	10月12日		小林史郎	
環境経営(2)	3 電機産業の環境経営活動の事例	製造業としての環境適合性を継続的に改善するための仕組みづくりや取り組み方を日立の事例を交えながらケーススタディする。	10月19日		平野学	
化学物質管理(2)	4 REACH指令適合の要点	化学物質管理の根本を揺るがす新概念、REACH指令の要求事項について解説し、日本企業の適合のための課題を探る	10月26日		今井康晴	社団法人日本化学物質安全・情報センター
環境経営(3)	2 環境経営の成熟度	環境経営の成熟度評価モデルについて解説する。	11月2日		市川芳明	日立製作所
化学物質管理(3)	6 化学物質総合管理基盤の構築方法	グリーン調達や製品含有化学物質管理などを視野にいれた、化学物質総合管理の必要性と取り組み方について解説する。	11月9日		小林史郎	
	7 化学物質管理サービスの実際	ASP(Application Service Provider)として、化学物質管理ノウハウをベースにして多数の会社に支援サービスの提供を実践している事例をケーススタディする。	11月16日		渡邊 憲一	エコリサーチ
環境適合設計	8 環境適合設計の基本	製造業における環境適合設計への取り組み方の基本手順、経営上の課題と対策について解説する。	11月30日		市川芳明	日立製作所
	9 LCAの進め方	LCA(Life Cycle Assessment)の理論的基礎と具体的な進め方を事例を交えて解説し、EuPやエコラベルなどの経営インパクトの高い課題への対処法についても紹介する。	12月7日		佐々木智代	
	10 リサイクル性評価の進め方	WEEE指令をはじめとするリサイクル率の法制化対応に必須のリサイクル設計について解説し、その有効なツールであるリサイクル性評価法(REM)について紹介する。	12月14日			
	11 製品化学物質管理への取り組み方	RoHS指令対応をはじめとする製品化学物質規制は、環境経営上の最重要課題である。この緊急課題に対処するための合理的な取り組み方と企業戦略を具体的な事例をもとに論じる。	12月21日		市川芳明	
グリーン調達	12 グリーン調達のしかたとされた	企業経営にとって或る意味で法規制よりもインパクトの大きい顧客のグリーン調達調査への対処方法、および自らサプライヤにグリーン調達調査を実施する際の取り組み方を論じる。	1月11日			
情報システム	14 環境経営のツールとシステム化	現代の環境経営に不可欠なツールとなったITシステムの構築手順を解説し、経営効果を高めるための留意点にも紹介する。	1月18日	市川芳明		
	13 環境情報収集の進め方	環境報告書の情報範囲のグローバル化への対応は、グローバルな企業リスク回避の意味合いから重視されてきている。企業統括情報収集の進め方について解説し、環境会計への応用などについても紹介する。	1月25日	小林史郎		
国際標準の動向	15 製品環境規制の国際標準化の最新状況	RoHS指令、EuP指令など製品の環境適合性に関する法規制は、WTOのTBT協定により、国際標準が実施方法の具体化に大きな影響を及ぼす。講師のIECにおける活動から最新状況を紹介する。	2月8日	市川芳明		